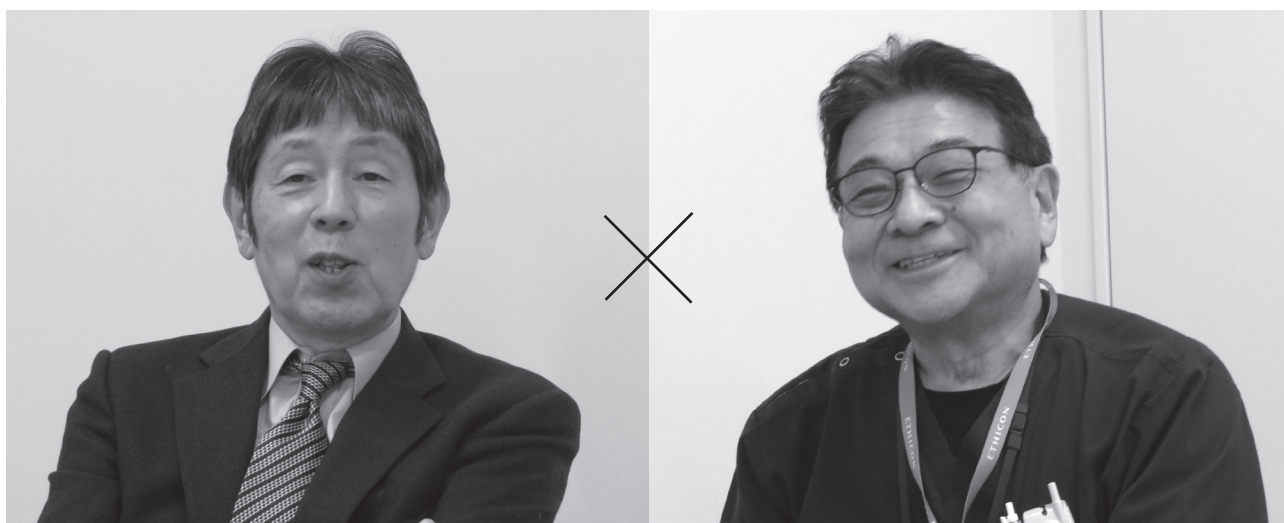


対談

地域で女性のヘルスケアを推進するために



若槻明彦先生

愛知医科大学 名誉教授
日本ウィメンズヘルスケア協会 理事長

伊藤雄二先生

市立恵那病院 副管理者

学生時代の転機から 産婦人科の道へ

伊藤雄二 今日では愛知医科大学名誉教授の若槻明彦先生をお招きしました。

私は、「月刊地域医学」の編集委員をしておりまして、1年～1年半に一度、女性医療や産婦人科に関連する特集を企画し、地域の先生方に情報提供をしています。5月号の企画も私が担当し、その巻頭の対談で若槻先生のお話を伺いたいと考えました。

若槻先生のご略歴を簡単に紹介してから対談に入りたいと思います。先生は、昭和59年(1984年)に愛知医科大学を卒業され、同年、地元の

高知医科大学(現 高知大学)の産婦人科に入局されました。平成元年(1989年)から2年間、周産期医療で非常に有名な米国カリフォルニア州のアーバインカリフォルニア大学に留学されています。平成3年に帰国、平成7年に高知医科大学の講師、平成13年に助教授、平成17年に愛知医科大学の産婦人科教室の主任教授に就任。その後は、副院長、副学長、医学部長等を歴任し、令和6年3月に退官されて名誉教授になられました。

また、先生は日本女性医学学会の理事長を長年務められ、昨年一般社団法人日本ウィメンズヘルスケア協会を設立して、女性のヘルスケアについてさまざまな啓発を含めた活動をされていらっしゃる、女性医療の分野では第一人者です。

今回の対談は、若槻先生に2019年から非常勤で市立恵那病院で外来診療をしていただいております。昨年から市立恵那病院のウィメンズヘルスセンターの顧問として恵那市のウィメンズヘルスに3年間の計画で関わっていただけたことになったことで実現しました。今日はいろいろお話を伺いたいと思います。若槻先生、よろしくお願いします。

先生は、今ご紹介したように、愛知医科大学を卒業されて高知に戻られ、そこで研究や臨床に携われたということですね。

若槻明彦 はい、そうです。でも実は学生時代に私にとっての大きな転機がありました。20歳のとき、友人と4人で車に乗っていてヘアピンコーナーを曲がりきれずに50mくらい崖下に転落し、脊椎の圧迫骨折で1年休学したのです。その間にいろいろ考えることがあって、人生観が変わりました。

大学を卒業して高知医大に戻り産婦人科に入局したのですが、教授が非常に厳しい先生で、突然、教授から「胎児の脳のミトコンドリア」の研究をするように言われたのです。自分は入局したばかりで研究も行っておらず、突然の課題になかなかうまくいかず紆余曲折を繰り返し、最終的には基礎の先生のサポートをお借りして何とかミトコンドリア活性の測定が可能となりました。実は苦労して確立したこの測定方法がその後大きく展開していくことになります。

伊藤 基礎の研究で、動物は何を使われたのですか？

若槻 胎児脳のミトコンドリアの研究はラットを使用しました。

この研究を続けていたら、教授から今度は留学するように言われたのです。そこで周産期では世界一と言われていた米国のアーバインカリフォルニア大学に2年間留学することにし、ヒツジの胎児の生理学的実験をしました。当時は世界でも最先端の研究でした。そこで成果を

あげて論文も執筆し、意気揚々と日本に1991年に帰ってきました。帰国して「さあ、やるぞ!」と思ったら、教授から「胎児の実験だけやっていても駄目だ、エストロゲンと脂質代謝の研究をしろ」と言われたのです。「今まで胎児を中心とした周産期の研究をしていたのに、エストロゲンと脂質代謝ってなんだ!？」とすごく不安でした。

当時、産婦人科には「脂質代謝」という領域はありませんでした。ではどうしようかと思い、「絵でみる脂質代謝」といった類いの本で勉強することから始めました。分からないところは内分泌内科の先生に電話をして教えてもらおうと思って「エストロゲンと脂質代謝を研究しようと思います」と話したら、「先生、そんな研究はしても無駄ですよ」と言われたのを今でも鮮明に覚えています。

さまざまな研究に取り組む

伊藤 高知医科大学は新設大学ですから、先生が戻られた時には1期生くらいの時で新しい教室だったと思うのですが、その教授はエストロゲンと脂質の研究をさせることについて、どういう意図があったのでしょうか。

若槻 当時、学会などでいろいろな先生が「エストロゲンと脂質は重要だね」と話していたのを聞いて、それをほぼ丸投げしたのだと思います(笑)。産婦人科領域での脂質代謝というのは、まだ認知されていなかったもので、内分泌内科の先生は産婦人科の医師が脂質代謝の研究をすることが領域が異なるので「無駄」と言ったのだと思います。私はその言葉を聞いて「このやろう、見ていろよ!」と思って、猛烈に研究を始めました。

研究するうち「エストロゲンと脂質代謝の関